

Port of Hachinohe

No. **11**
DEC 2003

---Maritime & Trade Report---

- 八戸港東南アジアコンテナ定期航路交流ミッション 2003
- トレードフェア in Hachinohe 開催
- 中国天津市塘沽区視察レポート
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 大幅な伸びを続ける台湾へのナガイモ輸出
- 青森県輸入住宅促進協議会ニュースレター

ミッション団を台湾に派遣

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、去る平成15年11月24日（月）～29日（土）の日程で、八戸市助役大河原隆を団長とするミッション団を台湾に派遣いたしました。

台湾では、WTOへの加盟や昨年11月の同協議会のミッションを契機に、八戸地域のリンゴ・ナガイモ等への関心が高まっております。

一方、農林水産物の輸出促進を図るため日本貿易振興機構（ジェトロ）では、「日本食品等海外市場開拓委員会」を立ち上げ、さらに、青森県を含む27道県による「農林水産ニッポンブランド輸出促進都道府県協議会」が発足するなど、その取組みが強化されてきております。

このような状況を踏まえ、昨年引き続き、台湾の商社、荷主等へ八戸港の利用拡大を図るための「八戸港セミナー」や、リンゴ・ナガイモなどの農産物に関する「青森農産物等商談会」を開催し、八戸港を通じた貿易の一層の促進、現地企業との経済交流を深めて参りました。（関連記事：2ページ）



台北市進出口商業同業公会



台湾果物輸入協会との昼食会

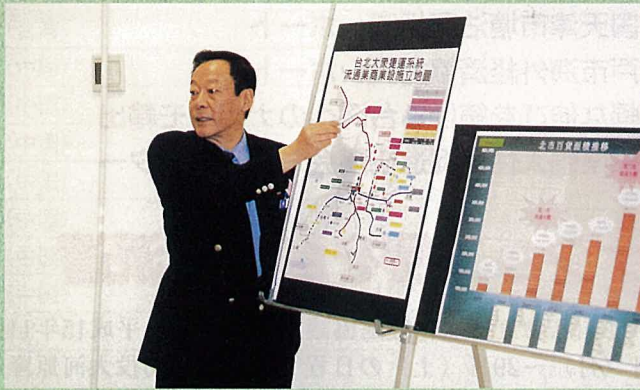


台北市進出口商業同業公会

～八戸港東南アジアコンテナ定期航路交流ミッション2003～

●ミッションの概要

- (1)台北市で「八戸港セミナー」及び「青森県産品等商談会」を開催しました。
- (2)台北市、高雄市において、亜東関係協会、財交流協会台北事務所、台北市進出口商業同業公会、中華民国対外貿易発展協会、高雄市進出口商業同業公会を訪問しました。
- (3)台中市、高雄市において「トレードフェア in HACHINOHE」（関連記事：3ページ）で来八した企業を訪問しました。
- (4)大葉高島屋など、台北市、高雄市において日系大型百貨店を視察しました。
- (5)高雄港を視察しました。



大葉高島屋総経理 新畑氏

●八戸港セミナー及び青森県産品等商談会

11月26日（水）、台北市のアンバサダーホテルにおいて「八戸港セミナー」を開催し、船社、商社、荷主など約60名の出席者に対し、青森県港湾空港課の高田主幹により八戸港の施設概要、コンテナ航路を中心とするサービス内容について説明がなされました。

引き続き行われた「青森県産品等商談会」ではリンゴ・ナガイモなどについて活発な商談が行われました。

今後、昨年以上に八戸港を利用した青果物の貿易拡大が期待されます。



台北でのセミナー&商談会



熱心に説明を聞くメンバー



台北でのセミナー&商談会

●今回のミッションを振り返って

- (1)昨年に引き続きの台湾ミッションでしたが、この1年間で台湾側の日本の食材（食文化）に対する関心と需要は拡大していました。その一因として、従来からの日本食に対する信頼に加えて、新型肺炎（SARS）に罹らなかった日本人の食生活を見習いたいという人が増えてきていることが挙げられます。一流デパートやスーパーの食品売り場は、日本のそれと変わらない程の商品であふれていました。つまり、何でも売れるし、何でも買いたい状況にあります。
- (2)日本からは鳥取県（ナシ）、愛媛県・和歌山県（ミカン）、長野県・福島県・岩手県（リンゴ）、北海道（ナガイモ、水産物）、島根県・新潟県（米）などが積極的な売り込みを行い、それなりの成果をあげていると伺いました。また、台湾の人々は目に見えるものにしかお金をかけないという気質があるため、これまでとはとても輸出できないだろうと思っていたものでも、試食販売を通じて消費者へ直接PRすることにより、売れる可能性があります。事実、台湾側青果業者からは、干し菊やニンニクなど様々なオファーをいただきました。
- (3)昨年の台湾の青果物輸入は、40フィートコンテナで1万6千本。うちリンゴが8千本。日本からは600本位でその7割程度は青森産となっております。リンゴについては、アメリカ産より日本産、それも青森産をという業者と複数接触することができ、価格や出荷時期等に関して有意義な情報が得られました。
※なお、今回のミッションでの高雄港視察の様子は次号にてご紹介します。

歓迎光臨来八戸 ～トレードフェア in HACHINOHE～

去る、11月10日～11日、台湾の商社等食品バイヤーを八戸市に迎えました。これは、リンゴ、ナガイモなどの青果物や水産加工品の輸出増大を目指して、八戸港国際物流拠点化推進協議会、(株)八戸港貿易センター、独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）青森貿易情報センターからなる「トレードフェア in HACHINOHE」実行委員会の企画によるもので、台湾から10社17人が参加しました。

●市内視察（10日）

来八した皆様は、10日、八戸市中央卸売市場、八戸港、種差海岸など市内視察をしました。



市内屋台村にて

●りんご農園訪問（11日）

今回のフェアにも出品している、八戸市内及び南部町の農園を訪問し、リンゴの収穫を体験しました。小雨混じりのあいにくの天候でしたが、もぎたてのリンゴの甘さに大満足です。



りんご収穫体験

●奥入瀬溪流・十和田湖へ（11日）

あいにくの天候でしたが、雨の奥入瀬の流れも、なかなか風情あるものでした。皆様お楽しみいただけたのでしょうか…



十和田湖にて

●「トレードフェア in HACHINOHE」（11日）

今回のメインイベントです。青森県港湾空港課の横山副参事による「八戸港概要説明」に引き続き、青森県りんご果樹課の佐々木主幹による「台湾におけるりんごPR活動について」の説明、出展者の紹介を経て、いよいよ商談会が始まりました。



商談会の様子

商談会では、八戸地域の青果物取扱業者、生産者、水産加工会社等7団体が各ブースで、それぞれ自慢の商品をPRしていました。



「トレードフェア in HACHINOHE」

どのブースでも、試食や、品質や価格等の交渉など、熱心な情報交換が行われていました。

今後、益々多くの地場産品が八戸港を通して台湾へ輸出されることが期待されます。



商談会の様子

社会科学習見学

(株)八戸港貿易センターではこの9月、八戸工業大学第二高等学校、八戸高校、金田一小学校など、学校の社会科学習見学を受け入れました。

その中で二戸市立金田一小学校の皆さんは、9月19日に引率の教諭3名と5年生41名が貿易センタービルを訪れました。児童達は、ビデオや資料によって八戸港の貿易港とし



熱心に質問をする児童

での役割や、当社の業務内容、FAZ (Foreign Access Zone) などについての説明を受けた後、前の日から自分で考えてきた事を熱心に質問していました。その後、屋上上がった子供達はとても元気で、八戸港の景色を楽しんでいました。



(株)八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。



Q 個人輸入と商用輸入の違いは何ですか？

A 個人輸入とは、自分で使用するものを輸入することです。海外の通販カタログを利用して購入するイメージが分かりやすいかもしれませんが、ただし、個人で輸入しても他人に販売すると商用輸入のビジネスとして扱われます。その場合、消費者の安全を確保するなどの理由から、輸入時に規制されるものがあります。個人輸入では、自己責任を前提にそれらの規制は免除されていますが、ビジネスでは個人で行う少量の輸入でも免除されません。もし、輸入した商品が原因で事故が生じた場合はPL法（製造物責任法）で輸入者の責任が問われることもあります。また商用輸入では日本の商習慣が通用しないこともありますから、取引内容をよく確認してトラブルを防止する必要があります。

Q 輸入食料品の取扱はどのようになっているのでしょうか？

A 果物、野菜、穀物など害虫のついていいるおそれのあるものは「植物防疫法」に基づいて植物検疫が行われ、害虫がないことを確認した上で輸入されます。また食肉については「家畜伝染病予防法」で動物検疫を行い、家畜の伝染病が持ち込まれることを防いでいます。さらに全ての食料品や食品添加物について「食品衛生法」によって人間に害がないか検査を行い、安全と確認されたものが輸入されています。この法律は食品の他、容器・子供が口に入れるかもしれないおもちゃ・食器を洗う洗剤などについても適用されています。

お問い合わせ先

(株)八戸港貿易センター

Tel 0178-72-1505 Fax 0178-72-1503

台湾で青森県産品が大ブレイク

去る11月20日（木）から12月1日（月）の12日間にわたり、台湾高雄市の大立伊勢丹において、「2003年青森の物産と日本のうまいもの・伝統工芸展」が開催されました。

デパート前には、ねぶたミニチュアの展示と津軽三味線の演奏が行なわれており、大勢の人々が足を止め見ていました。

会場の方では買物客でごった返し、フェアの目玉である青森県産品は飛ぶように売れ、その中でも「りんご」、「ほたて」は特に人気を集め2～3日で完売したほどです。

台湾における青森県産品の「りんご」、「ほたて」に対するニーズは強力なものがあり、今後の県産品の台湾に対する貿易が推進・拡大していくことが予想されるフェアでありました。

問い合わせ先

青森県庁文化観光部文化観光推進課

物産貿易グループ

☎017-734-9370 FAX 017-773-2691



会場入口



「来場客でにぎわうフェア会場」

「魅力ある人とみなとまちづくりにむけて」フォーラム開催

去る9月26～27日、「魅力ある人とみなとまちづくりにむけて」フォーラムが八戸グランドホテルを主会場に開催されました。このフォーラムははちのへウィメンズアクション、八戸みなとまちづくり市民フォーラム（代表：柁沢孝子氏）の主催により、八戸におけるみなとまちづくりについて市民、女性、来訪者の視点で考えることを目的として開催されたものです。

初日の26日は県内外から集まった約70人が6つのグループに分かれてフィールドワークに参加し、八戸の観光資源である燕島や再開発が進む沼館地区、ポートアイランドなど八戸の海と港周辺を散策しながら環境点検を行いました。夕方のワークショップでは各グループで意見を取りまとめ、「燕島や館鼻公園からの素晴らしい港の景観は是非とも残したい」、「故障して使えないトイレを早急に改善して欲しい」、「ポートアイランドの活用をもっと図れないか」など、各地区の残したい資源や改善点などについて意見発表がなされました。その後、フィールドワークにも参加し

た東海大学短期大学部助教授の東恵子氏による「魅力ある地域づくりは港の景観（色彩）から」と題しての講演会が開催されました。

翌27日は日本テレビ審査室考査部参与の大井紀子氏が「女性が競馬を変えた。そして港も…」と題して講演を行った後、青森、広島、苫小牧、酒田の各港のみなとまちづくりに関わる女性をパネリストに迎えたミニフォーラムが開催されました。ミニフォーラムでは前日のワークショップの意見発表の内容を踏まえ、八戸のみなとの印象や今後のみなとまちづくりへの期待などをテーマに活発な意見交換が行われ、盛況のうちに終わりました。

今回のフォーラムは、みなとまちづくりに関する市民の関心をひくとともに、市民連携港湾の実現に向けた取り組みの例として全国に情報発信されております。八戸港において今後、市民と行政が連携するみなとまちづくりがより推進されるものと期待されます。



グループ発表の様子



フィールドワークの様子

天津市塘沽区へ経済交流調査団を派遣

八戸市産業政策課 主事 川代隆哲

天津新港
コンテナ取扱量：約300万TEU

八戸市では10月6日から10日までの日程で、大河原助役を団長とする経済交流調査団を中華人民共和国天津市塘沽区へ派遣いたしました。

天津市は中国4大直轄市の1つで、省と同格の権限を持つ約1,000万人の都市です。その副中心部である塘沽区は、天津新港を有する人口60万人の貿易都市です。

滞在中、一行は天津市塘沽区人民政府と経済交流に関する協議を行った他、首都北京の玄関港である天津新港や天津市の農産物市場を視察しました。

◎天津市塘沽区人民政府との協議

10月7日（火）、天津市塘沽区において、塘沽区人民政府と経済交流に関する協議を行いました。今回の協議は、同区から経済交流を推進したい旨の申し出があり実現したもので、両地域間では既に民間企業を中心とした経済・人事交流が進展しております。

協議では、始めに塘沽区人民政府の張区長より「八戸市とは経済のみならず科学技術、教育などで幅広い交流が可能だ」と調査団を歓迎しました。

続いて、双方の産業、文化などについて紹介を行い、貿易・産業都市として互いに多くの共通点を持っていることや、両地域間には既に経済交流の土台が形成されていることを確認しました。

また、両地域の経済交流を推進するため、「相互に訪問し、貿易、環境、産業廃棄物処理等に関する経済交流についての協議を継続する」ことで合意するなど、有意義な協議となりました。

8日（水）には、天津市人民政府の只副市長を表敬訪問し、只副市長からも「経済交流の進展が文化交流にもつながることを期待している。市としても可能な協力をする。」と両地域の交流推進に賛同を頂きました。

天津との貿易は融雪剤や自転車などの輸入を中心に拡大しつづけ、2002年のコンテナ取扱量においては、対前年比43%増の968TEUを記録するなど、八戸港にとって中国最大の貿易パートナーになっております。天津市塘沽区との合意を機に、りんごなどの地場産品の輸出や環境リサイクル分野の経済交流についてお互いに取り組んでいくことを確認いたしました。



塘沽区人民政府との協議 塘沽区側からは各部署の幹部が出席



天津市副市長表敬訪問 右：只副市長



天津市交通局訪問 中央：沈局長



農産物市場

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2003年12月現在、海外在住（香港、シンガポール、ワシントンD.C、タコマ、マニラ）の5名を「八戸市海外経済協力員」に委嘱し、協力員には現地の出来事や経済状況をレポートして頂いております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をして頂けることになっていきますので、ご希望の方は八戸市経済部産業政策課（TEL0178-43-2111 内308）までご連絡ください。

REPORT 1

香港の紹介 Hong Kong



ヤンマーエンジニアリング株式会社香港事務所
所長
原子 司さん



今回は11月初めに行なわれた、香港トレイルウォークについてご報告したいと思います。

一般的に香港は小さな国土に大勢の人が住み、ショッピング、飲食を目的とした観光客が押し寄せ町中が人であふれ返っているように思われていますが、まさにその通りです。

因みに総面積で比較すると香港は青森県の約10%で人口で比較すると5倍となります。

その狭い香港の約40%は山で、意外ですが香港には山登り同好会が多数あります。

一番高い山でも1000メートル弱ですが、登山道は良く整備されており、気軽に楽しめます。さて本題に入りますがこの100キロウォークは非常にユニークなルールがあり、まず4名、1チームで48時間以内での完走（1名の途中棄権は認められている）が求められており、さらに完走したチームだけに与えられる名誉というものがああります。

それはなんと“寄付をする権利”です。普通に考えると逆のような気がしますが、普段は金銭にはうるさく、運動嫌いな香港人が、この権利を獲得する為に100キロも歩くのです。

その寄付金も最低1チーム、25,000香港ドル（¥90,000）です。今年は980チームが抽選で参加しており、その60%は完走するといいますから、けっこうな金額になりますね。ちなみに1986年から昨年までの17回で寄付金総額は22億円だそうです。

この競技は国境警備の為にネパールから傭兵として連れてこられたク

ルド人が訓練の為にこなっていたことが発祥です。コースはほとんどが山岳コースで、登り、下りの連続となります。優勝チームは全工程を12時間半で走り抜けます。一般には山岳会のチームでも24時間はかかるようです。この競技の難しさはやはり4名、1チームというところでしょう。疲労が極限に達したときのチームワークを維持する難しさ、また時には幻覚に襲われたり、気力、体力の維持などさまざまな試練が待ち受けています。

ずぼらな私はとても100キロに挑戦する気力、体力はありませんが、時々香港の雑踏を離れ5キロウォークを楽しみたいと思います。



スタート直前風景



スタート直後



ゴール

八戸港の貿易概況報告 (2003年1月～9月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL 0178-72-1850 FAX 0178-72-1503

<概況>

輸出の主な品目では魚介類が不調であったが、亜鉛塊、鉄鋼製品、有機化学品が好調に推移、大幅増となり輸出総額は前年比167.2%、一方輸入は主な品目別に見ると、飼料、肥料、金属製品、カオリン等が不調であったが、糖蜜、コークス類、ウッドパルプ等が伸び輸入総額では前年比97.5%となった。

■平成15年1月～9月の貿易額 (単位：千円)

※八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	12	8,857,480	200.00%	127.5%
フェロニッケル	MT	73,932	13,467,563	80.80%	100.2%
有機化学品	KG	1,308,270	875,780	115.00%	101.7%
紙 製 品	MT	3,480	371,716	90.20%	105.5%
一 般 機 械	MT	1,984	957,060	77.40%	170.1%
鉄 鋼 製 品	MT	34,515	1,397,191	130.60%	181.6%
飼 料	MT	7,116	379,369	107.30%	104.7%
魚 介 類	MT	3,222	331,325	73.80%	46.5%
亜 鉛 塊	MT	12,439	1,155,954	157.60%	146.0%
そ の 他			20,698,550		492.7%
計			48,491,988		167.2%

●コンテナ分取扱実績 () 内前年比

輸 出	312億8,797万 (198.6%)
輸 入	197億7,000万 (116.9%)

●コンテナ貨物通関本数 () 内前年比

輸 出	4,814TEU (86.5%)
輸 入	7,921TEU (102.9%)
合 計	12,735TEU (96.0%)

輸 入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	627,034	9,760,986	105.30%	100.5%
とうもろこし	MT	649,155	10,436,893	111.50%	125.5%
ニッケル 鉱	MT	1,663,308	7,232,344	90.00%	111.9%
木 材	CM	97,326	2,148,780	103.10%	98.9%
亜 鉛 鉱	MT	103,210	2,499,300	92.20%	91.6%
大 豆 粕	MT	150,140	4,419,484	111.40%	120.9%
魚 介 類	MT	9,364	3,919,605	93.40%	102.4%
飼 料	MT	37,131	1,050,696	29.40%	53.5%
石 炭	MT	529,736	2,426,729	82.30%	80.1%
こうりゃん	MT	152,178	2,644,353	94.70%	113.6%
ウッドパルプ	MT	19,540	1,059,339	129.90%	135.7%
カ オ リ ン	MT	87,371	1,750,712	73.00%	70.7%
肥 料	MT	10,978	236,367	74.90%	68.0%
重 油 等	KL	48,886	1,270,966	86.60%	102.6%
コークス等	MT	85,429	1,361,356	136.40%	199.1%
鉛 鉱	MT	39,185	1,045,138	102.60%	94.2%
金 属 製 品	MT	2,042	481,330	56.80%	68.7%
その他穀物	MT	18,469	257,989	84.40%	72.7%
糖 蜜	MT	5,521	50,982	206.90%	173.9%
そ の 他			19,991,518		83.3%
計			74,044,807		97.5%

大幅な伸びを続ける 台湾へのナガイモ輸出

日本貿易振興機構 (JETRO)
青森貿易情報センター
TEL 017-734-2575
FAX 017-773-2877
030-0822 青森市中央1-23-5 明治生命青森中央ビル7階

ナガイモは台湾では薬膳として食される習慣があり、日本産ナガイモ輸出量の9割以上は台湾に輸出されている。

台湾で最高品質とされ、人気のあるのが、日本で需要の少ない3L (1,000g～1,200g) や4L (1,200g以上) サイズのものである。

日本でナガイモの輸出に積極的に取り組んでいるのは北海道の帯広周辺の5農協で川西ナガイモというブランドで98年から本格的に台湾への輸出を始め、その後も順調に拡大している。

台湾のナガイモの輸入統計を見るとそのほとんどが日本からの輸入で、98年に632トンであったものが、毎年大幅な伸びを示し、02年には約6倍の3,681トンを記録している。

台湾果物輸入商協会 (03年9月設立、約70社加盟) 理事長の陳正忠氏は台湾のナガイモの輸入はさらに大幅に拡大すると見ており、ナガイモ生産日本一を誇る青森からのナガイモ輸出も大幅に増加することが期待される。

台湾のナガイモ輸入量

単価：kg

国名	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1 日本	172,900	632,130	1,013,957	2,041,115	2,528,690	3,680,882
2 北朝鮮	0	0	0	0	60,000	19,600
3 韓国	0	0	0	0	18,000	6,010
4 ニュージーランド	0	0	0	0	1,250	2,950
5 ベトナム	0	0	0	0	0	126
6 米国	0	0	0	0	5,500	0
世界合計	172,900	632,130	1,013,957	2,041,115	2,613,440	3,709,568

出所) World Trade Atlas (HSコード0714903200にて検索)



AIRA会員紹介

今回から数回に渡り、AIRA会員様のご紹介をさせていただきます。

1回目は、AIRA会長、齋藤様が所属する丸喜(株)齋藤組です。

昭和20年に齋藤組として設立、昭和63年に組織変更し現在の丸喜(株)齋藤組となりました。本社は青森市中央に所在し、東京営業所のほか青森市ヨーク堂そば、浜田に住宅展示場を備えています。また、本年8月にカナダに現地法人を設立しました。

主な業務として公共工事やビル・マンション建築、そして住宅建築工事を請け負っています。住宅は在来工法のほか、カナダからの建築資材と工法を取り入れたカナディアンハウスを展開しています。カナディアンハウスは、カナダの天然資源省認定の「R-2000」住宅プログラムを基本に更にクオリティを高めたもので、青森県では初めての「スーパーE」認定を受けました。特徴として、①2×4工法による耐震性、②通常の3倍の耐久性を誇る国際水準の長寿命、③有害物質を放出しない建材を利用した高い安全性、の3つが挙げられます。青森市浜田の展示場には、このカナディアンホームと和風モダン住宅が常設され、いつでもその高い品質と機能を実際にご覧いただけます。

今年7月には「国際芸術センター青森」の建築において、高い施工技術と優れたデザインを持つ優秀な建築物に送られるBCS賞を受賞しました。青森県では初の受賞となります。また来年2月には米国アラスカで開催される「国際冬の見本市」に出展を予定しています。

丸喜(株)齋藤組

建設大臣許可(特-12)第18888号

青森市中央二丁目1番17号

TEL 017-777-3329/FAX 017-723-1796

<http://www.marukisaito.com/>

aomori@marukisaito.com



AIRA会員募集

AIRAでは輸入住宅を取扱っている、または今後取扱を希望している、住宅・建材関連企業の方々を募集しています。AIRA会員には以下のような特典があります。

1. ジェトロ推薦講師によるセミナーへの参加。
2. 貿易センターの施設が優待料金にて使用できる。
3. 各種貿易相談を受けられる。
4. 輸入住宅および部材についての情報が受けられる。
5. 輸入住宅海外視察ミッション等への参加(自己負担あり)ができる。

AIRA:青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内

Tel : 0178-72-1505 Fax : 0178-72-1503

<http://www.aira.ne.jp>

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社齋藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4階	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市造道二丁目10-17	017-741-8451
株式会社トーリン	むつ市金谷一丁目14-23	0175-22-6333
南部木材株式会社	八戸市吹上一丁目1-13	0178-45-4331
有限会社アメリカンスタンダードホーム	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-1011

Aomori Import Residence Association

<住所は全て青森県内です>

会社名	連絡先住所	電話
株式会社角弘	青森市新町2-5-1	017-723-2222
株式会社鎌田建設工業	青森市古館安田11-24	017-741-2063
グットワークトレーディング有限公司	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター2F	0178-72-1560
株式会社テーオー小笠原	青森市東造道三丁目6-3	017-736-2000
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282
有限会社山広産業 住宅部	八戸市一番町一丁目2-22	0178-27-6570

Aomori Import Residence Association

	コンテナ航路	船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、台中、高雄)、中国(香港)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山)、中国(上海) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/2週	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	4
光陽(韓国)	4	10
基隆(台湾)	6	8
高雄(台湾)	7	9
香港(中国)	8	11
大連(中国)	9	8
青島(中国)	9	8
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	8	8
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	17	22
バンコク(タイ)	17	20
レムチャパン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	21
ホーチミン(ベトナム)	20	20
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

客船「にっぽん丸」が八戸港に寄港

商船三井客船の外航クルーズ客船「にっぽん丸」が10月17日、八戸港ポートアイランドに寄港し、歓迎セレモニーが開催されました。今回の寄港は、東北地方の紅葉の名所・名湯を訪れる4泊5日の「にっぽん丸秋クルーズ」の一環で、県外から300名のお客様をお迎えしました。

当日は秋晴れの中セレモニーが開催され、中村八戸市長から「にっぽん丸」の白川船長に花束と市の代表的な郷土芸能「えんぶり」をかたどった彫金の額を贈ったほか、乗客の皆様には八戸名物の「南部せんべい」を振る舞いました。

また、セレモニーの終わりには青森県立八戸北高等学校吹奏楽部による歓迎の演奏が行われ、乗客の皆様が聴き入った後、十和田湖や古牧温泉、市内観光へと向かいました。

ポートアイランドには、日本を代表する豪華客船を一目見ようと多くの市民が集まり、大きな関心を寄せていました。



編集後記

皆様師走のお忙しい日々をお過ごしのことと思います。風邪などひいておりませんでしょうか。

寒～い冬、あったか「せんべい汁」はいかがでしょう？「せんべい汁」は八戸南部地方で200年の歴史をもつ伝統料理です。簡単に言ってしまうと、せんべい入り鍋or汁なのですが、使われる「せんべい」は「せんべい汁」専用で、スープがしみ込んで「もちっ」「じゅるっ」といった感じになります。寒い今夜は、「せんべい汁」を「はふっ」と食べてみませんか。このおいしさを言葉で表すのは難しいですね！

まだ、食べたことのない皆様、どうぞ八戸でトライしてみてください。「せんべい汁」をおいているお店やレストランには「せんべい汁あります」の旗が掲げられています。詳しくは八戸せんべい研究所www.senbei-jiru.comのサイトをご覧ください。

今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いたします。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

- 八戸通運株式会社(海運営業所) TEL: 0178-29-0202 FAX: 0178-20-3281
 - 八戸港湾運送株式会社 TEL: 0178-29-3177 FAX: 0178-29-3119
 - 新丸港運株式会社 TEL: 0178-20-2321 FAX: 0178-20-2353
 - 八戸運輸倉庫株式会社 TEL: 0178-28-2401 FAX: 0178-28-6976
 - 三八五流通株式会社 TEL: 0178-52-7755 FAX: 0178-52-7751
 - 日本通運株式会社八戸支店 TEL: 0178-27-3311 FAX: 0178-27-5520
 - ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL: 0178-20-1651 FAX: 0178-20-2444
- 青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会
株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市経済部産業政策課内

TEL:0178-43-2111(代表) e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp